



令和2年4月17日

即応対処部隊の運用開始について

東京消防庁では、近年頻発する広域自然災害への災害対応力強化を図るため、新たな部隊として「即応対処部隊」の運用を開始します。

1 運用開始日時

令和2年4月18日（土） 13時00分

2 即応対処部隊の概要

平成30年7月豪雨及び北海道胆振東部地震などの大規模災害を踏まえ、近年頻発する広域的な風水害に備えるため、令和2年2月に発隊した部隊です。

即応対処部隊は、警防本部直轄の部隊として、大規模かつ広域的な自然災害において、全地形活動車やエアボートといった主要装備により通常の消防部隊では進入困難な地域にいち早く進入し、ドローン等を活用した被害状況の把握や迅速な救出救助活動を行います。

詳細は別紙をご参照ください。

3 部隊の構成

即応情報隊（各部4名）及び即応救助隊（各部8名）で構成され、これに部隊長を加えた各部13名（3部交替）が総括部隊長のもとで活動します。その他、部隊を管理する職員を加えた総勢42名で運用を開始します。

4 所在

葛飾区高砂一丁目1番1号

5 配置される主な特殊車両等

詳細は別添えをご参照ください。

6 映像等の提供

即応対処部隊の各車両（エアボート含む）による訓練映像（画像）等をご提供可能です。ご希望の社は、広報課報道係までご連絡ください。

なお、映像はブルーレイディスク、画像はDVDでお渡しします。

問合せ先

〔 東京消防庁（代） 電話 03（3212） 2111 〕
〔 広報課報道係 内線 2345～2353 〕

本件は、「『未来の東京』戦略ビジョン」を推進する先導的事業です。

戦略8 安全・安心なまちづくり戦略

「火災や災害から命を守る体制強化プロジェクト」

即応対処部隊とは

近年頻発する広域自然災害において、
既存の消防部隊による対応では様々な課題が顕在化



平成30年7月豪雨
(西日本豪雨)



平成30年台風21号



北海道胆振東部地震

主な課題

- 課題① 要救助者の有無等、災害実態の把握に時間を要する
- 課題② 少ない情報に基づき、各部隊が個別に活動
- 課題③ 道路寸断等により被災現場への進入が困難

対応策

- ① 既存の部隊では進入困難な現場へ先行できる部隊の創設
⇒迅速な災害実態の把握と救出救助体制の確立
- ② 情報を出場部隊に速やかに伝達できる体制の構築
⇒ハイパーレスキュー等との連携による対応力の強化
- ③ 消防部隊を統制し、各部隊の能力を発揮させる体制の構築
⇒活動隊を統制し指揮統制力の強化

即応対処部隊に配置特殊車両等の一例

【高機動救助車】

広域浸水地や土砂災害現場に早期に部隊を展開するため、水深1.2mまでの浸水地や43度までの傾斜を走行できる高踏破性能を有した車両



【全天候型ドローン】

進入困難な場所の情報を上空から収集
※今年度導入予定

【全地形活動車】

泥濘地や急斜面、浸水地、道路損壊地等へ先行するための不整地走行性能に優れた小型かつ軽量の四輪駆動車



【エアポート】

スクリューがなく水面の浮遊物に影響を受けない構造で、摩擦抵抗の低い船底により陸上も滑走できる特殊艇



高機動救助車（活動型）概要



シャシ 関係	型式	メルセデス・ベンツ U5023
	全長	約7.17m
	全幅	約2.49m
	全高	約3.55m
	車両総重量	約11,075kg
	乗車定員	3名
特徴	<ul style="list-style-type: none">○ 放水機能（可搬ポンプ積載） 車上放水銃1,000ℓ/分○ 浸水地や悪路における走破性（水深約1.2m走破可能）○ フロントバンパーにウインチ機能（常時5t使用可能）	

高機動救助車（搬送型）概要



シャシ 関係	型式	メルセデス・ベンツ U5023
	全長	約6.92m
	全幅	約2.49m
	全高	約3.58m
	車両総重量	約13,535kg
	乗車定員	3名
特徴	<ul style="list-style-type: none">○ 2.9tクローラークレーンを積載○ 浸水地や悪路における走破性（水深約1.2m走破可能）○ フロントバンパーにウインチ機能（常時5t使用可能）	

全地形活動車概要



シャシ 関係	型式	POLARIS RTE87
	全長	約2.96m
	全幅	約1.65m
	全高	約2.01m
	車両総重量	約1,385kg (積載物450kg含む)
	乗車定員	2名
特徴	<ul style="list-style-type: none">○ 浸水地や悪路における走破性○ クローラー装着で、泥濘地や急斜面、浸水地、道路損壊地等の踏破性大	

高機能指揮支援車概要



シャシ 関係	型式	いすゞ 2KG-CYY77CY
	全長	約11.97m
	全幅	約2.48m
	全高	約3.76m
	車両総重量	約23,500kg
	乗車定員	3名
特徴	<ul style="list-style-type: none">○ 冷暖房装備6基の拡幅室（約70㎡）○ 可搬ミスト装置積載○ ミストシャワーユニット（赤外線サーモカメラ付きミスト冷却装置）積載○ 熱中症予防WBGT表示パネル積載	

エアボート概要



		(大 型)	(小 型)
シャシ 関係	全長	6.79m (ラダー収納時6.36m)	5.69m (ラダー収納時5.2m)
	全幅	2.26m	2.25m
	全高	2.55m	2.48m
	車両総重量	約1,300kg	約1,100kg
	乗車定員	6名	4名
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ プロペラの風力を動力とするため、浸水地の浮遊物や水深に関わらず航行が可能 ○ 陸上の滑走が可能 		